




ポリウレタン混合衣類の取扱いの基本

近頃、伸縮性やシワになりにくい特長を持たせるためにポリウレタンを数%～十数%含んだ衣類が普及してきています。ポリウレタンは優れた利点を持つ一方で、湿気、摩擦、塩素、熱、紫外線に弱く、消費期限は製造から約3年という欠点があります。できる限り長く使うためのポイントを下記に致します。

ポリウレタンの特性

-  唯一の伸縮性繊維で、シワになりにくい繊維です
-  湿気、摩擦、塩素、熱、紫外線に弱くデリケートな繊維です。取扱い表示を守らないと衣類を傷めてしまいます
-  消費期限(衣類の寿命)は「製造」から約3年です。条件や取扱いによっては更に劣化が早いことがあります

洗濯

一般的な取扱い表示は、次のように推奨されていることが多いです

- ・ 水温は30℃以下
- ・ 手洗い または 洗濯機の弱水流洗い
- ・ 塩素系漂白剤は使用禁止
- ・ つけおきしない
- ・・・ 熱に弱い
- ・・・ 摩擦に弱い (洗濯で摩擦やねじれで繊維に負担をかけ過ぎない)
- ・・・ 塩素に弱い
- ・・・ 湿気に弱い

乾燥・干し

ポリウレタン混合衣類を乾かすならひさしのある日陰干しがおすすめ

- ・ 脱水後はすぐに直射日光を避けて干す
- ・ 風通しの良い場所で形を整えて干す
- ・ 干すときは衣類を引っ張らない
- ・ 厚手のハンガーを使用し、裏返しに干すのがおすすめ (乾きにくい生地重なっている部分が表になるため)
- ・・・ 紫外線に弱い (直射日光は劣化が早まります)
- ・・・ 湿気に弱い (濡れている時に繊維に力を加えると劣化が進む)
- ・・・ 同上
- ・・・ 同上

乾燥機を使うなら・・・

- ・ 畳んで適正なサイズのネットに入れる
- ・ 低温 (60℃以下) で短時間にする
- ・ 完全に乾く前に取り出し、最終仕上げは自然乾燥する
- ・ 自然乾燥は風通しの良い場所で日陰干し
- ・・・ 摩擦に弱い (他の衣類と絡むのを避ける)
- ・・・ 熱に弱い (乾燥時に衣類が縮む)
- ・・・ 同上
- ・・・ 紫外線に弱い (直射日光は劣化が早まります)

ポリウレタンの劣化

- ・ 着用しなくても劣化は進んでいる (製造してから約3年で消費期限を迎えます。購入からではありません。)
- ・ 湿気、紫外線といった様々な環境条件で劣化の速度が変わる
- ・ 水にぬれた状態で熱を加えると、染料による吐き出しや劣化が起こる

最後に

大切な衣類ですので、取扱い表示を守り、適切な取扱いや保管を頂くと長く快適に衣類とお付き合い頂けます